

令和8年度 シラバス

教 科	商業	科 目	原価計算	学 年	第2学年	学 科 類 型	情報ビジネス科
単位数	2 単位	教科書	原価計算(実教出版)				
副教材	完全段階式 標準検定簿記問題集 原価計算(とうほう)						

学習目標	製造業における原価計算と、工業簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、製造原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を適切に活用する能力と態度を育てます。
------	---

キャリア教育の視点	ビジネスの役割や経済の発展を担う企業の活動について理解を深めることで、将来、経済社会で活躍する一員として、望ましい心構えを身に付け、学校から社会への円滑な移行につなげます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第Ⅰ編 原価計算の基礎	原価計算の基本的な事項、製品の製造原価を計算するための第一手続きとしての費目別計算を学習します。 第二、第三手続きとしての部門別計算と製品別計算の記帳方法を学習します。 製造業の決算について、報告書の作成方法を学習します。	中間考査
	5月	第Ⅱ編 原価の費目別計算		
	6月	第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算		期末考査
	7月	第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算		
	7月	第Ⅴ編 標準原価計算の基礎 第Ⅵ編 直接原価計算の基礎		
2 学 期	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

学習の方法	学習についての概要を説明し、目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行います。また、單元ごとの小テストを行い、学習の定着度を確認しながら授業を進めていきます。 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級取得を目指します。
-------	--

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	---

備考	
----	--